

わたしがギリシャ語を学んだテキスト

梅本 順子

20年近くも前になりますが、私が初めて現代ギリシャ語を学んだのは朝日カルチャー・センターの初級現代ギリシャ語のクラスでした。教科書は *Tá νέα ελληνικά για ξένους* というテッサロニキ大学の留学生用の本でした。全部ギリシャ語で書かれている上、字が小さく、初めて学ぶ者にとってはお世辞にも使い易いと言えるものではありませんでしたが、慣れてくると、例文も多くなかなかよく出来た教科書だと思えるようになりました。もしあの本の例文を全部覚えていればそれだけで充分流暢なギリシャ語がしゃべれたことでしょう。その後はギリシャ旅行の際に集めたパンフレットやガイドブック、本屋で気まぐれに買った詩集などをつまみ読みするのが私のギリシャ語とお付き合いです。教科書に従って勉強したのは1年だけで、その他は必要に応じて参考書を見ています。会話の方は初めから諦めていたので、全くものになりませんでした。書かれたものは辞書があればなんとか読んでいます。私のギリシャ語理解に役だったものは Peter Mackridge の *The Modern Greek Language* でした。また、日本での入手はむずかしいかもしれませんが、A. A. Τζαρτζάνου の *Γραμματική της Νέας Έλληνικής Γλώσσας* は書かれたものの時代が少し遡る場合に特に役立ちます。辞書も Δ. Δημητράκου の *Όρθογραφικόν Έρμηνευτιόν Λεξικόν* があると随分楽だと思います。いずれも以前駐日ギリシャ大使だった Mr. Vassis が勧めて下さったものです。